

CPE IFRS 新教材の販売について

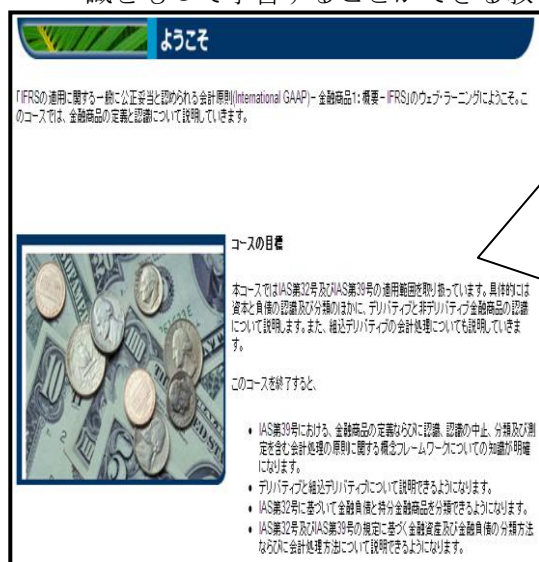
CPE 制度協議会において、新たな教材ツールとして「IFRS eラーニング教材」の販売を開始いたしました。

本教材は、従来の研修会参加や「会計・監査ジャーナル」等書籍の読書に基づき単位の申請を行うものではなく、CD-ROMに収納している教材を各自で学習し、最後にCPEウェブサイトにおいて確認テストを行い、70%の正解率を達成することにより単位が付与される教材です。

ここでは、本教材の仕組みを簡単にご紹介いたします。

1枚のCD-ROMの中にはIFRSに関する13の教材が収納されております。

各教材には、コース目標及び、終了した際の達成度が記載されておりますので、目的意識をもって学習することができる教材となっております。



コースの目標

本コースではIAS第32号及びIAS第39号の適用範囲を取り扱っています。具体的には資本と負債の認識及び分類のほかに、デリバティブと非デリバティブ金融商品の認識について説明します。また、組込デリバティブの会計処理についても説明していきます。

このコースを終了すると、

IAS第39号における、金融商品の定義ならびに認識、認識の中止、分類及び測定を含む会計処理の原則に関する概念フレームワークについての知識が明確になります。

デリバティブと組込デリバティブについて説明できるようになります。

IAS第32号に基づいて金融負債と持分金融商品を分類できるようになります。

IAS第32号及びIAS第39号の規定に基づく金融資産及び金融負債の分類方法ならびに会計処理方法について説明できるようになります。

教材は、対話形式で進められます。そして途中テストをこなし、ご自身の理解度をチェックしながら、学習を進めていきます。当然のことながら、学習を進めるうち「もう一度戻って学習したい」という場合にも戻って再度学習することもできます。

テストについても、皆様をご存知のチェックマーク形式のみではなく、数値を入力するケースや、該当する画像をクリックするケース、あるいは、回答を選択の上ドラックするなど、多種多様にご用意しております。

ここでは簡単にご紹介いたします。

■対話形式による学習方法（ふきだしは会話の中身を拡大したものです。）



マリエ：ブレイクウェイク・ congロマリット社では、様々な目的のためにデリバティブを使用しています。リスクを軽減したり、商品の価格を確定したり、時には単に利益を得るために使用したりしています。ニーナにとっては、デリバティブについて書物で得た知識を実務上確認できるとてもいい機会になるでしょう。


続ける

マリエ：ブレイクウェイク・ congロマリット社では、様々な目的のためにデリバティブを使用しています。リスクを軽減したり、商品の価格を確定したり、時には単に利益を得るために使用したりしています。ニーナにとっては、デリバティブについて書物で得た知識を実務上確認できるとてもいい機会になるでしょう。

エレナ：私もそう思います。ニーナにとって、すばらしい実践的な学習機会となるでしょう。この調子で頑張ってください。困ったことがあれば遠慮なくいってくださいね。

デリバティブ

「続ける」をクリックすると、ブレイクウェイク・ congロマリット社財務部門における金融商品の利用に関する議論に参加することができます。



エレナ：私もそう思います。ニーナにとって、すばらしい実践的な学習機会となるでしょう。この調子で頑張ってください。困ったことがあれば遠慮なくいってくださいね。

続ける

デリバティブに関する議論（続き）

「続ける」をクリックすると、マリエとニーナのデリバティブの活用に関する会話を確認することができます。

エレナとの話の後、マリエはニーナと話をしています。



マリエ：ブレイクウェイク・ congロマリット社におけるデリバティブの利用について掘り下げて考えてみようと思います。すでにお分かりのように、金融商品がIAS第39号以外の基準書の対象になっている場合でも、**組込デリバティブ**が存在すれば、そのデリバティブはIAS第39号の適用対象になります。

マリエ：ブレイクウェイク・ congロマリット社におけるデリバティブの利用について掘り下げて考えてみようと思います。すでにお分かりのように、金融商品がIAS第39号以外の基準書の対象になっている場合でも、**組込デリバティブ**が存在すれば、そのデリバティブはIAS第39号の適用対象になります。

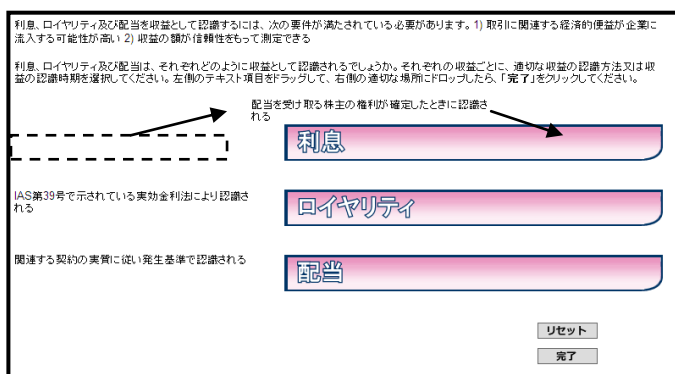
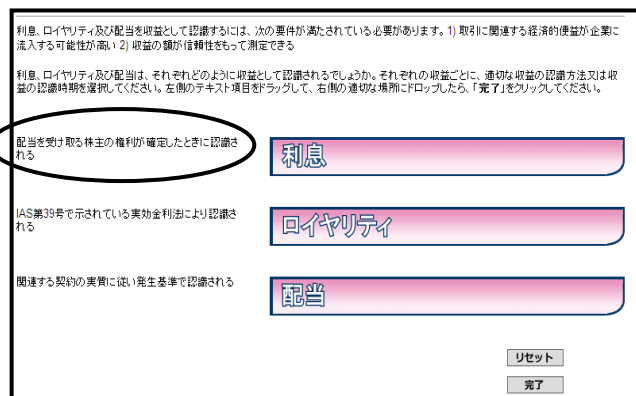
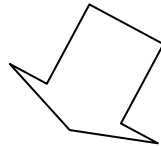
■テスト問題について

「TRUE」又は「FALSE」を選択する問題。



該当する項目をドラックするケース

例えばこの文字を
左クリックする。



該当すると思われる
項目にドラックする。

この他にいろいろなユニークな出題形式をご用意。楽しみながら学習できる仕組みになっております。

是非この機会に、IFRS eラーニング教材をご購入いただき体験してみてください！

■動作環境

- ① Windows 2000、XP、Vista、7（その他 OS では動作しません）
- ② Internet Explorer 6 以上
- ③ Adobe Reader 8 以上
- ④ Adobe Flash Player
- ⑤ インターネットが接続できる環境（CPE 履修単位の申告のため）
- ⑥ 画面解像度が 1024×768 以上の表示ができるディスプレイ
- ⑦ 電子申告会員の方のみ使用可能です。

■販売料金等について

教材は合計 26 テーマあります。この 26 あるテーマを 13 ずつ 1 枚の CD-ROM に収納し 1 枚当たり 5,000 円（消費税込、送料別）で販売いたします。

1 枚目（1 / 2）

IFRS と IASB の概要	(CPE : 2 単位)
業績報告及び会計方針の変更	(CPE : 2 単位)
有形固定資産、投資不動産及び借入費用の資産化	(CPE : 2 単位)
企業結合	(CPE : 2 単位)
引当金、偶発債務及び偶発資産	(CPE : 1 単位)
法人所得税	(CPE : 2 単位)
リース	(CPE : 2 単位)
資産の減損	(CPE : 2 単位)
キャッシュ・フロー計算書	(CPE : 2 単位)
初度適用	(CPE : 2 単位)
収益認識	(CPE : 1 単位)
棚卸資産と工事契約	(CPE : 3 単位)
従業員給付	(CPE : 1 単位)

2 枚目（2 / 2）

外貨建取引及び超インフレ	(CPE : 2 単位)
関連当事者注記	(CPE : 1 単位)
農業	(CPE : 1 単位)
投資の分類	(CPE : 3 単位)
無形資産	(CPE : 1 単位)
株式報酬	(CPE : 2 単位)
1 株当たり利益	(CPE : 2 単位)
金融商品 1 : 概要	(CPE : 2 単位)
金融商品 2 : 金融商品の会計処理	(CPE : 2 単位)
金融商品 3 : 開示	(CPE : 3 単位)
保険契約	(CPE : 2 単位)
IAS 1 号に基づく財務報告の概要	(CPE : 2 単位)
事業セグメント	(CPE : 1 単位)